

公 表

第 28 回技能グランプリ「かわらぶき」職種 競技課題

I. 【作業時間】

第一日目	集合時間	8 : 30
	作業説明	8 : 30
	競技開始	8 : 45
	休 憩	10 : 15
	作業再開	10 : 30
	昼食休憩	12 : 00
	作業再開	13 : 00
	休 憩	14 : 45
	作業再開	15 : 00
	作業終了	16 : 45
第二日目	集合時間	8 : 30
	作業開始	8 : 45
	休 憩	10 : 15
	作業再開	10 : 30
	作業終了	12 : 30

作業時間	合 計	10 時間
------	-----	-------

★前日に施工架台の抽選を行い、2 時間 3 0 分を限度として、瓦の点検・瓦座打ち・流し棧木打ち・瓦棧打ち及び地割り、架台に補強棟金物の取り付け、緊結線の取り付けを認める。

当日は選手以外会場に入らないこと。

下記の仕様に従い課題図を参考にして屋根架台に瓦を葺きなさい。

II. 【仕様】

1. 使用瓦は三州いぶし瓦 53A 判防災切落棧瓦を使用する。
2. 全ての瓦の納まりは現場作業を想定した施工とし、雨仕舞に配慮すること。
架台瓦葺き以外の部分は、屋根以外の部分として考える。
3. 瓦の葺き方は、流し棧木を留め付けた上、引掛棧空葺き工法（馴染み土の使用は可）とする。（流し棧施工図例参照）
4. 軒瓦は、施工図を参照のうえ一文字軒瓦と万十軒瓦を使用し、軒瓦の尻部分は銅線緊結もしくはビス止めとする。
5. 袖瓦は、尻部 2 箇所を銅線もしくはビス止めとし、左右の出寸法を同じにして通りよく納める。
6. 一文字・万十切隅瓦は、左右ともに 2 箇所を野地よりトンボにて緊結し、互いに結び合わせる。
7. 軒瓦の出寸法は一文字・万十ともに、瓦座外面から 60～90 mm（流れ寸法）とし通りよく納める。なお、計測の位置は瓦座から軒瓦の水垂れ外面までの寸法とする。
8. 棧瓦は全数ビス止めとし、折継ぎ瓦・隅の左右勝手瓦に穴をあけ、野地よりトンボにて緊結、又は下地にビスにて止め付ける。定着用に葺土を使用してもよい。
9. 駒巴瓦は、2 箇所を野地よりトンボにて緊結する。
10. 隅の左右勝手瓦および陸棟の折れ継瓦の隙間は、30 mm以内とする。
11. 鬼瓦の緊結は、# 19 の銅線を使用し 4 本を縘状にして野地に緊結する。
12. 棟鬼瓦の据付位置は、谷立納めとする。隅鬼瓦の据付け位置は自由とし、割熨斗瓦 2 段積み、素丸瓦の仕様とする。
13. 陸棟・隅棟の施工法はガイドラインに準じ、耐震金具を陸棟 2 ヶ所・隅棟各 3 ヶ所に取り付ける。熨斗積み 1 段目と 2 段目の間に D10mm の横鉄筋を這わせ、取り付けた耐震金具と # 19 銅線で留め付ける。（棟・隅棟断面納まり図例参照）
14. 隅棟の頂点部分は、施工図に従い切合わせによる三叉納めとし、素丸・熨斗瓦を左右同寸法として隙間なく納める。
15. 1 段目の熨斗瓦は向かい合わせた熨斗瓦を互いに緊結し横筋に絡め止め付、2 段目の熨斗瓦は向かい合わせた熨斗瓦を互いに緊結する。素丸瓦は横筋に取り付けた銅線にて緊結する。
16. 割熨斗瓦のちりは、勾配で 10 mm とする。
17. 割熨斗瓦の勾配は 3 寸以上とすること。
18. 棟の台土は、台熨斗瓦より 30 mm 以上内に納めること。
19. 軒・袖・角・切隅等外周部の瓦はビスにより、補強止め付けをする。
20. 葺き土は南蛮漆喰とし、28 kg 入り 7 袋とする。

21. 瓦を破損した場合は申し出により支給するが、減点の対象とする。
22. 副資材の追加支給はしない。ただし南蛮漆喰の追加は認める。
23. 作業時間を超過した場合は、失格とする。

III. 【注意事項】

1. 合端は支給の合端台を使用し、各自の競技架台の前ですること。
2. 他人との工具の貸借は禁止する。
3. 副資材として、接着剤・粘着テープを用いることは不可とする。

IV. 【器具工具】

- ★ 使用する器具・工具は技能検定使用に準ずる。ただし、木工用ノミと電動工具は充電式インパクトドライバーを使用可とし、充電は所定のコンセントを用いる。治具は認めるが横50cm縦30cm高さ20cmの箱の中に入る物とする。
(組立て又は連結して箱の中に入らない物は認めない。)
競技委員が認めない治具は使用不可。
なお、使用に際し判断に迷う治具については当日競技委員に判断を仰ぐこと。

V. 【安全作業】

- ★ 服装は高所作業を考え、シャツ・ズボンの袖を留め、地下足袋等を履き、安全帯・ヘルメットを着用のこと。(ヘルメットは会場にて支給)
- ★ 他人を負傷させたり、本人が怪我をした場合、その状況により失格とすることも
ある。

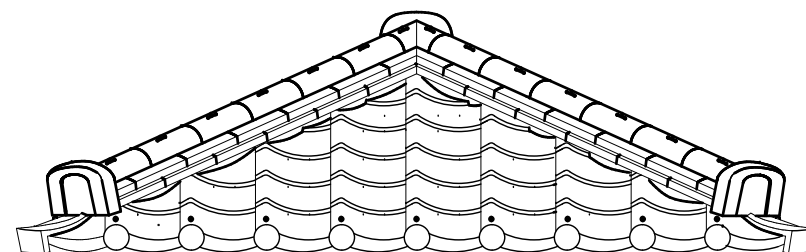
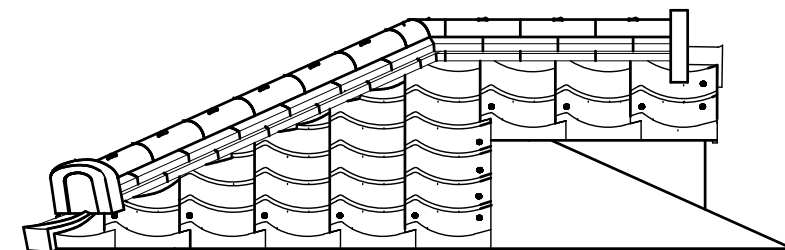
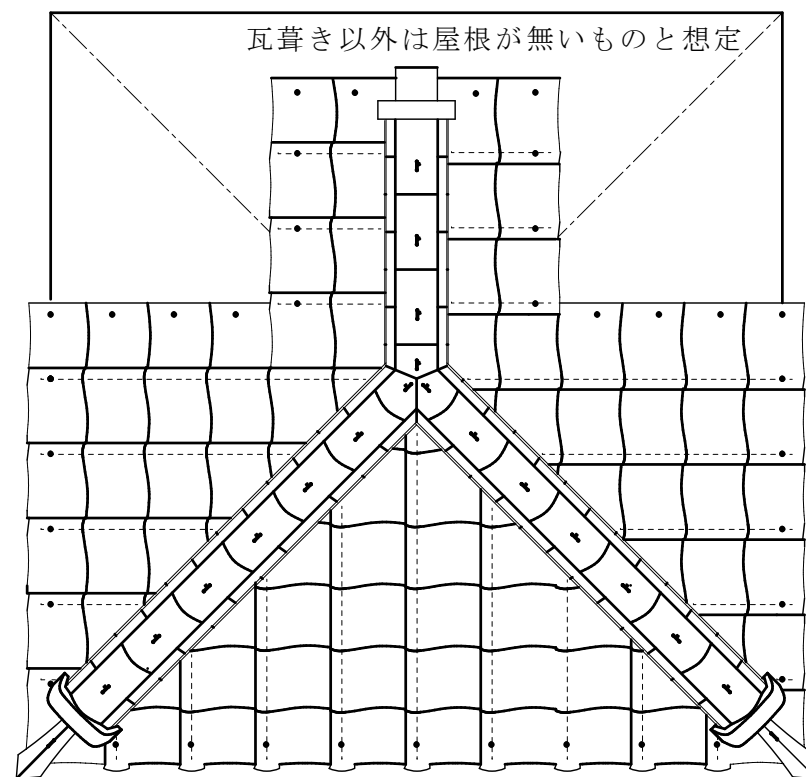
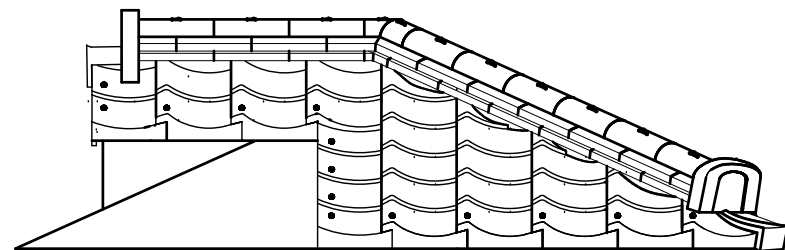
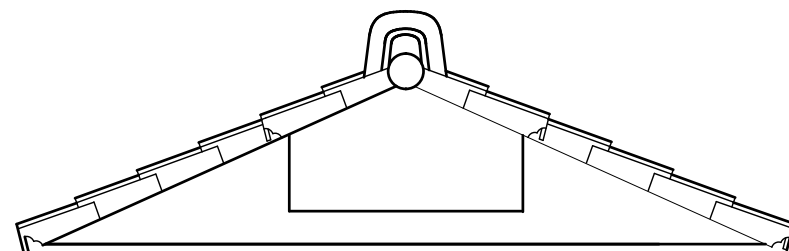
VI. 【作業態度】

- ★ 応援団の指導やアドバイスがあった場合には競技委員協議の上、平等を期すため選手の作業態度の評価で減点及び失格の対象とすることがある。

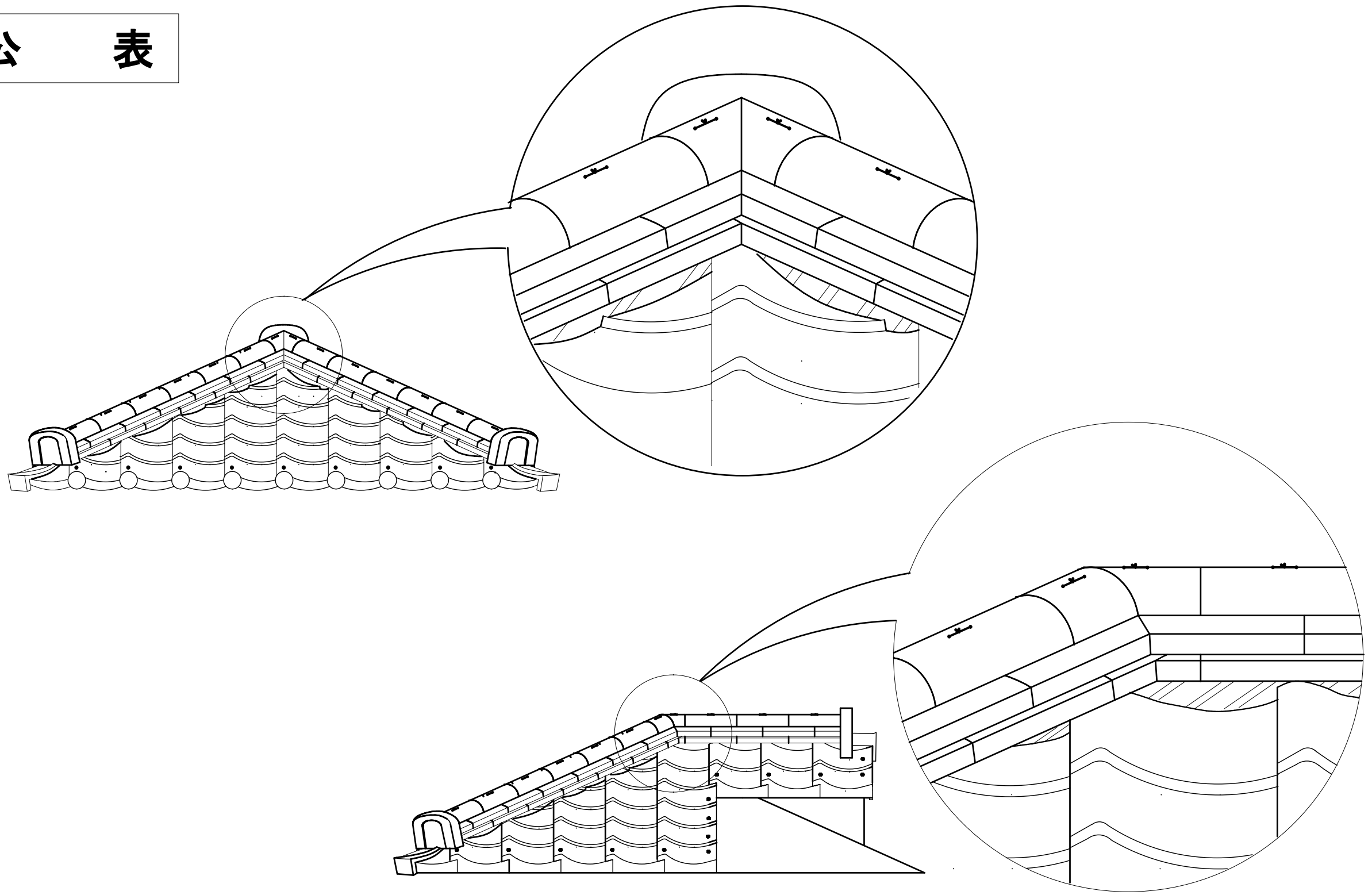
VII. 【作業終了】

- ★ 作業終了は、清掃、整理整頓を終え、ヘルメット、安全帯、腰袋を外してから、合図を行う。

公表



公 表



名称 第28回 技能グランプリ

架台棟納まり図詳細

一般社団法人 全日本瓦工事業連盟

公表

第28回技能グランプリ「かわらぶき」職種 持参工具等一覧表

品名	寸法又は規格	数量	備考
工具・治具	提示された課題の施工に必要なもの	適宜	使用する器具・工具は一覧に掲載されているものとする。但し、木工用ノミと電動工具は充電式インパクトドライバーを使用可とし、充電は所定のコンセントを用いる。治具は認めるが横50cm縦30cm高さ20cmの箱の中に入る物とする。(組立て又は連結して箱の中に入らない物は認めない。)競技委員が認めない治具は使用不可。
作業服等		一式	地下足袋等
安全帯		1	必ず持参すること
さしがね		2	瓦用くせがね、自在がね等を使用してもよい
メジャー		1	
たがね		適当数	
と石		各1	瓦すり用・たがねすり用
はさみ		1	銅線が切れるもの
ペンチ		1	
くぎぬき		1	
かなづち		2	
のこぎり		1	
押切りカッタ		1	瓦切断用
瓦ごて		1組	柳刃ごて、煉瓦こて併用可
面戸ごて		1	
白墨		1	瓦せん別用
墨壺		1	白墨、朱墨、黒墨可
水系		適宜	
水平器・こう配定規		適宜	
ぞうきん		若干	
鉛筆、色鉛筆等		適当数	
くぎ袋		1	
カッターナイフ		1	
インパクトドライバ		1	充電式、電動式可
電動ドリル		1	充電式、電動式可
土ねり用くわ		1	
コンパス(ディバイダ)		適宜	
スプリングクランプ		適宜	
毛布又はござ	<small>ジョウ</small> 1帖程度のもの	適宜	床・屋根養生用
ヘルメット		1	当日会場にて寄贈
作業用手袋		適当数	
はこみ(土いれ)		適宜	土入れ台

(注) 使用工具等は、上記のものに限るが、同一種類のものを予備として持参することはさしつかえない。

公表

第28回グランプリ「かわらぶき」職種 設備基準

(数量は選手1人あたりを示す。)


品名	寸法又は規格	数量	備考
競技用架台		1台	
コンセント		1口	電動工具充電用
合端台		2本	掛台共 ビールケース等2個
合端台 枕材		2本	
合端台 揺れ止め材		2本	
バケツ		1個	
ほうき・ちりとり		1個	
ゴミ袋		4枚	

第28回技能グランプリ「かわらぶき」職種 競技用材料

【使用瓦】 三州いぶし瓦53A判防災切落し
創嘉瓦工業株

瓦 一 式	寄せ棟屋根架台図	枚数
	53A防災切落棧瓦	57
	一文字軒瓦	13
	一文字切隅 右	1
	一文字切隅 左	1
	一文字直角瓦	2
	一文字左角瓦	2
	駒巴瓦	2
	切落袖瓦 右	5
	切落袖瓦 左	4
	ベタ小巴瓦	1
	5寸素丸瓦	18
	厚のし瓦	36
	万十切隅瓦 右	1
	万十切隅瓦 左	1
	万十軒瓦	8
	カエズ6寸棟鬼瓦 (別図 鬼裏張りを切り落としたもの)	1
	カエズ6寸一文字隅鬼瓦	2
	架台使用総数	155

【副資材】

架 台 等 補 助 材	競技用架台		1台	全瓦連	
	合端台		2本		
	合端台 枕材		2本		
	合端台 揺れ止め材		2本		
	ビールケース等		2個		
	鉄ビス流し棧用	45mm	90本	(株)ダイドーハント	
	鉄ビス棧木用	65mm	77本		
	鉄ビス瓦座用	75mm	38本		
	ステンビス 強力棟用	32mm	34本		
	ステンビス 軒瓦、袖瓦、角	51mm 44本	114本		
	ステンビス 棧瓦	51mm 62本			
	ステンビス 切隅瓦、隅巴瓦	51mm 8本			
	ステンビス 軒瓦、角瓦	57mm	26本		
	ステンビス 鬼瓦、巴留め用	65mm	4本		
	瓦補強ビスパッキン付	100mm	25本		
	瓦補強ビスパッキン付	75mm	12本		
	棟補強金物 横鉄筋	D10mm × 1600m	2本		全瓦連
	棟補強金物 横鉄筋	D10mm × 850mm	1本		
	強力棟金具上部分103-CR-180-Z		8本		(株)屋根技研
	強力棟金具下部分103-AB-ZAM		8本		
	流し棧等	15 × 45 × 3000	13本	全瓦連	
	瓦座用材 	40 × 60 × 3000	4本		
	瓦棧木	24 × 30 × 3000	8本		
	銅線	#19	55m	(株)ダイドーハント	
	足場用貫材	90 × 18 × 1500	3本	全瓦連	
	足場用紐	1m × 6本	6m		
	葺土 (南蛮漆喰)		7袋	(有)渡辺建材	
下葺材			旭・デュポンフラッシュスパンプロダクツ(株)		

「かわらぶき」職種Q & A

Q 1 : 2月20日(金)当日2時間30分の事前作業の中で残った栈木の余りを、後の作業で使用したいのですが、可能ですか。

A 1 : 可能です。ただし、競技会場、個人競技ブースからの持ち出しはできません。

Q 2 : 養生用の毛布等は、床面に敷いたままでよいですか。たたんだほうがよいのでしょうか。

A 2 : 現場の状況を判断して、整理整頓してください。

Q 3 : 仕様の7の軒瓦の出寸法について、「瓦座外面から60~90mm(流れ寸法)とし通りよく納める」と書いてありますが、同寸法とは書いていないので、スガル部分の軒の出寸法は変えてもよいのでしょうか。

A 3 : 各選手の判断で作業を行ってください。

Q 4 : 2月20日(金)当日2時間30分の事前作業の中で残った木材は、その日に撤去されてしまいますか。翌日にも使いたい箇所があるのですが、その分はどうすればいいのでしょうか。

A 4 : 翌日に使用する事は可能です。片付けの際、処分するゴミと間違えられないように整理してください。

Q 5 : 事前作業内で瓦選別時に瓦の配置はしてもいいのでしょうか。

A 5 : 常に整理・整頓されたスペースを考慮し、選手自身の作業内容に合わせて、スペースエリア内に配置する事は構いません。ただし、架台の上に配置してはいけません。